

令和6年(2024年)度 産学官・地域連携活動報告書

連携先名称：日本工営株式会社，株式会社日健総本社

協定締結日：令和4年2月24日

活動状況：継続中

連携先窓口：日本工営株式会社 富坂様，株式会社日健総本社 足立様

活動資金：寄付金

担当教員(所属)：矢部和弘(森林総合科学科)

活動体制(単位)：大学

関連教員(所属)：渡邊文雄、鈴木伸治、橘 隆一、江口文陽(地域環境科学部)，
岡田慶一(生物産業学部)

活動目的：

- (1) 緑化工法の基礎と応用技術の開発とその評価
 - ・糸状藻類の効率的な培養技術の開発と技術者への教育・研究
 - ・糸状藻類による緑化技術の効率施工法の開発研究
 - ・緑化技術の性能評価
- (2) (1)を通じた人材育成
 - ・教育研究を通じた学生・社員及び地域住民等関係者等の育成
 - ・各取り組みを通じた学生への実習機会の提供

活動内容・成果：

- (1) 緑化工法の基礎と応用技術の開発とその評価
 - ・第51回環境賞「環境大臣賞」を受賞

日本工営株式会社，株式会社日健総本社，東京農業大学の三者が「土壌藻類を活用した自然回復技術の実装」で第51回環境賞「環境大臣賞」を受賞した。2024年6月4日(火)に霞山会館にて贈賞式に出席。2024年8月2日(金)にKKRホテル東京にて受賞記念祝賀会を開催した。

- ・奥多摩演習林内での実験施工

シダ(オオバイノモトソウ)の孢子との混播施工 2023/7/26 経過観察中

- ・北海道北見市における実験施工の継続観察

寒冷地における実験施工 2022/9/13 施工 継続観察中

- ・厚木キャンパス崩壊のり面における補修施工

凍上による崩落部分の補修施工 2023/4/11 施工 経過観察中

- ・愛媛県鬼北町および長崎県対馬市における試験施工

シカの食害激甚被害地への BSC 施工 2023/7/9 (鬼北町), 7/28 (対馬市)
経過観察中

- ・オホーツクキャンパス圃場のり面における試験施工 2024/6/21 経過観察中

(2) (1) を通じた人材育成

- ・対馬学フォーラムにて成果発表 2024/12/22
- ・東京農業大学稲花小学校での特別授業の実施 2025/1/20
- ・大学の講義での BSC 工法の紹介 各担当者が実施

課題・改善点：

緑化工法の基礎と応用技術の開発では、2024 年度の成果は比較的良好で、実験施工は、2025 年度も引き続き実施する。